

誠之の教育

6月号（第629号）
令和5年6月1日発行
文京区立誠之小学校

優しい気持ちをもって

副校長 吉澤 哲則



今週からいよいよ「梅雨」が始まりそうです。ジメジメしていたり、雨が多かたりする時期です。子供たちにとっては、外で遊ぶ機会が少なくなり、東大グラウンド体育もなくなってしまった！なんてこともあり、なんとなく、嫌な時期だなあと感じることでしょう。大人もどちらかという、「梅雨は早く明けてほしい。」と思う方が多いと思います。しかし、それは人間の都合であり、本来「梅雨」は植物にとって大変重要な時期です。この時期にしっかり水分を得て生長し、暑い夏にぐんぐん大きくなるためには必要な時期なのです。1年生の朝顔や、2年生の野菜たちが大きくなるためには、とても大切な時期だということを子供たちにも知ってもらいたいですね。

さて、学校の教育目標にある「目指す子供像」には、誠之小学校の基本理念〈誠之の心得〉として、「一 思いやり、いたわりの気持ちをもつ」という言葉があります。私は、「思いやり」「いたわり」の気持ちとは、「優しさ」のことだと解釈しています。「優しさ」という言葉は、子供同士のトラブルの時に、よく口にする言葉です。しかし、この「優しさ」という心をもつことはとても難しいことだとも考えています。相手のことを気遣って、心配して接することが「優しさ」ですが、自分の心の状態によっては、なかなかできないからです。人間は自分の心の状態がよくなないと、相手に強く当たってしまったたり、暴言を言ってしまったり、自分では「正義」だと思い勝手な行動をして相手を困らせてしまったりするものです。そのことが人間関係のトラブルに発展してしまいます。私の持論ですが、「優しさ」をもっている人間は「真に心が強い人」だと思っています。心の強さ・豊かさがある人は心に余裕がある。心に余裕があるからこそ他者に対して優しくなれる。「優しい心」と「強い心」は、同じ心の状態なのです。

では、どのようにすれば、「優しい心（強い心）」を身に付けることができるのでしょうか。それには、「自己肯定感」を高めることが必要不可欠だと思います。自己肯定感は「ありのままの自分を受け入れることができること」です。自分の長所や短所を受け入れることができなければ、他者のことを受け入れることはできません。



私は、誠之小学校の子供たちが、みんな「優しい子」になってほしいと願っています。優しい人は心の強い人。そのためにも「自己肯定感」が高まるように学校の教育活動全体を通して取り組んでいきたいと考えています。そうすれば、誠之小学校は、もっともっと素晴らしい学校になるのではないのでしょうか。是非、御家庭でも子供たちと「優しさ」について、お話ししてみてください。

はじめて たくさん 1ねんせい!!

1年生

ドキドキの入学式から2か月が過ぎ、子供たちも学校生活に慣れてきたようです。日々の学習に一生懸命取り組んでいます。新しいことをたくさん発見して、経験する1年生の表情はいつもキラキラと輝いています。

「ひらがなを学ぼう!」

国語の学習では、毎日ひらがなの練習をしています。「今日は何の文字を書くのだろう?」と、ワクワクしている様子が見られ、きれいに書けるように頑張るぞ!と意欲も満々です!



「どのくらいの長さで線を書くときれいに見えるかな?」「線の向きや曲がり具合はどうか?」など、字に真剣に向き合い、一画一画丁寧に書き進めています。真剣に取り組む姿は、とてもすてきです。



「きれいにさいてね」

生活科の学習で、あさがおの種をまきました。子供たちは種まきの時から、「この種はいつ芽を出すのかな?」「お花が咲いたら、きれいだろうな。」と、芽が出てくるのを楽しみにしていました。

水やりの時には「早く大きくなってね。」「きれいにお花を咲かせてね。」と声を掛けている児童もいます。

観察の時間には、葉っぱの色やさわり心地、においなどを感じて、成長の変化を楽しんでいる様子が見られます。そこで感じたことや発見したことを絵や簡単な文でかいて、記録をしています。暑くなり、どんどん成長していくので、様子を見るのがますます楽しみです。



「できることが たくさん!」

入学した当初は、6年生に助けられていた朝の準備も、今では自分一人でどんどんこなせるようになってきています。また、自分のことだけでなく、給食当番や掃除当番、一人一役なども積極的に



に取り組み、成長を感じます。

みんなと協力する大切さや人の役に立つ喜びを感じながら、できることをたくさん増やし、自信をもって、学校生活を過ごしてほしいと思っています。



5年生 ハケ岳移動教室

5年生に進級して1月がたち、新しいクラスの中で、友達の輪が更に広がってきたように思います。5月17日より、ハケ岳高原学園に行ってきました。

家や保護者と離れた土地で寝泊りをするということは、当然自分の事は自分でするという事です。持ち物の整理、食器の片付け、寝具の準備等、自分で取り組むことで、家族の苦労やありがたさに気付けた子供が多くいたようです。また、集団で行動することは、「協力する」ことだけでなく、周りの状況をよく見たり、時には我慢をすることが必要であり、それは他者を思いやる心が土台にあることにも気付くことができました。

様々な活動を通して、子供たちは大きく成長することができました。今回学んだことを、これからの学校生活に生かしていけるようにしたいと思います。保護者の皆様も、御協力ありがとうございました。



飯盛山山頂



キャンプファイヤー



ほうとう作り



餌やり体験



木工作



食堂での御飯



部屋遊び



朝の体操

私は、ハケ岳移動教室に行って、班で協力して活動する経験ができました。協力して行動することで、時間に余裕が生まれ、みんなが楽しい気持ちで過ごせる三日間になりました。

1組

ハケ岳移動教室では、自分たちで考えて行動できたと思います。山登りでは協力することの大切さ、牧場では生命の尊さも学びました。お世話になっている家族へ感謝する気持ちをもつこともできました。

2組

このハケ岳移動教室を通して、協力することの大切さを学び、これからの集団生活などに生かしていこうと思いました。ぼくたちにとってハケ岳移動教室は、いろいろな事を学ばせてくれる時間となりました。

3組

ハケ岳移動教室では、前もって準備することの大切さを学びました。集合の合図があつてからでは、なかなか全員がそろいません。次の活動を把握・予想することで、スムーズに準備することができると思いました。

4組

6月の行事予定

6月の生活目標 『遊び方をくふうしよう』

日	曜	行 事	こどもひろば
1	木	個別懇談⑤ B時程	
2	金	委員会活動 セーフティ教室(5・6年生)	
3	土		○
4	日		○
5	月	安全指導日	
6	火	プール開き朝会 魚沼移動教室事前検診(6年生)	
7	水	魚沼移動教室①(6年生) 水泳指導開始	
8	木	魚沼移動教室②(6年生) 給食試食会	
9	金	魚沼移動教室③(6年生)	
10	土		○
11	日		○
12	月	都意識調査(4年生)	
13	火	避難訓練	
14	水		
15	木	遠足(2年生)	
16	金	クラブ活動	
17	土		○
18	日		○
19	月	遠足(3年生)	
20	火	遠足(1年生)	
21	水		
22	木	わくわく班児童集会	
23	金		
24	土	土曜授業公開 下水道授業(4年生)	
25	日		○
26	月		
27	火	区音楽鑑賞教室(5年生)	
28	水	校内研究授業(2年生)	
29	木		
30	金	クラブ活動	

※放課後全児童対象事業への参加については運営事業者から出されている予定表を御確認ください。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、行事は変更の可能性があります。

※3年生の音楽専科が6月から変わります。

※1・2年生の音楽専科の先生が入ることになりました。(5月下旬から)

※6月から教育実習生が3年生に入ります。

